

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱ

専門教育科目 / 2 単位 / T 授業

担当教員 川崎 順子

■使用テキスト 一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟（編集）
「最新・社会福祉士養成講座第11巻 ソーシャルワークの基盤と専門職」中央法規出版

◆参考テキスト

講義概要・一般目標

本講座では、ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰで学んだことを土台として、社会福祉士の専門性をさらに深める内容を学びます。具体的には、ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲を理解し、ソーシャルワーク対象レベル（ミクロ・メゾ・マクロ）への支援の実際と関連性を理解していきます。（DP1・DP4）

そのことから、ジェネラリストの視点で総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義や内容を深めていき、ソーシャルワークの基盤となる専門的機能や専門職としてのあり方を考えていきます。（DP5）

全体を通して、ソーシャルワーク専門職としての価値、知識、技術の捉え方を体系化し説明できるようになりましょう。（DP2・DP3）

添削課題は、テキストを基本として作成しています。各章に該当するテキスト巻末の索引を利用して、テキストを活用しながら添削課題に取り組み、全体を把握するようにしてください。

到達目標

- 1) 社会福祉士の職域と求められる役割について理解する。
- 2) ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲について理解する。
- 3) ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象と関連性について理解する。
- 4) 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容について理解する。

実務経験のある教員による教育

科目担当（川崎）は、社会福祉士として行政や社会福祉協議会等での実践現場 5 年以上の経験に基づき、ソーシャルワークの基本的概念や専門職に求められる基本的知識を修得することを目的に添削指導を行う。

評価方法

科目単位認定試験により評価。

学習指導

ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅰは、テキスト第1章から第5章を範囲とする。
ソーシャルワークの基盤と専門職Ⅱは、テキスト第6章から第8章を範囲とする。

第6章 ソーシャルワークに係る専門職の概念と範囲

社会福祉士の職域と役割
多様な組織・機関・団体における専門職
諸外国の動向

第7章 ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワーク

ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの対象
ミクロ・メゾ・マクロレベルにおけるソーシャルワークの展開

第8章 総合的かつ包括的な支援と多職種連携の意義と内容

総合的かつ包括的な支援におけるジェネラリストの視点
ジェネラリストの視点に基づく総合的かつ包括的な支援の意義と内容
多職種連携及びチームアプローチの意義と内容